

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

小学校5学年 P調査問題  
(問題, 正答)

国語, 算数

長野県教育委員会

平成二十三年 度 P 調査問題 小学校五年国語(一)

五年( ) (組) (番) 氏名( )

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【一】 次の一線のついた漢字のよみがなを  の中にひらがなで書きなさい。

いいにおいが、辺り一面に広がる。

【二】 次の一線のついたひらがなを  の中に漢字に直して書きなさい。

ビルのおくじょうから町をながめる。

【三】 次の二つの文を、全体の意味を変えずに一つの文にしなさい。

スイッチを入れた。しかし、明かりがつかなかった。

問二 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

【四】 コノハチヨウが木のえだにとまっていると、えだにのこったかれ葉と見分けがつかないのはなぜですか。「から。」につながるように二つ答えなさい。

から。

から。

正答数

問/5問



# 平成 23 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 ( 1 )

5 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
( 答えはすべて解答らんにかきなさい。 )

正答数

問 / 5 問


【 1 】  $1.4 + 3$  を計算しなさい。

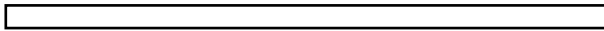
【 2 】  $80 - 30 \div 5$  を計算しなさい。

【 3 】 下の整数と分数を、小さい順に左からならべなさい。

$$\left[ \frac{8}{3} , 1\frac{2}{3} , 2 \right]$$

【 4 】 テープが 2 本ある。テープの長さは、次のようになっている。

・赤色のテープの長さは 3 m 

・黄色のテープの長さは 12 m 

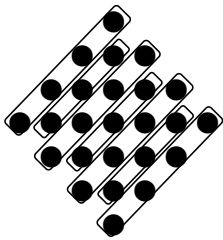
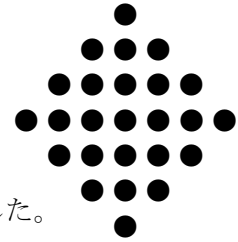
黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの何倍か。求める式と答えをきなさい。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 【 1 】 |                   |
| 【 2 】 |                   |
| 【 3 】 | 小さい順に<br>,      , |
| 【 4 】 | 式                 |
|       | 答え<br><br>倍       |

平成 23 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 ( 2 )

5 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

- 【5】 右の図のように、おはじきがならんでいる。  
たかしさんは、おはじきの数を次のような式で求めた。  
 $4 \times 4 + 3 \times 3$   
そして、どのようにおはじきを囲んで考えたのかを、下のように説明した。



「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」の「 $4 \times 4$ 」は、図のようにならんでいる 4 のまとまりが 4 つ分のこ数を表している。  
「 $3 \times 3$ 」も、ななめにならんでいる 3 つのまとまりが 3 つ分のこ数を表している。  
それらを合わせて、全部のおはじきのこ数を「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」ともとめた。

たかしさんが求めた式と同じ式で、別の囲み方で説明を考えることができます。たかしさんの説明を参考にして、 $4 \times 4 + 3 \times 3$  の式の説明を、たかしさんとは別の囲み方をした図と言葉でかきなさい。

|     |             |
|-----|-------------|
| 【5】 | <p>[説明]</p> |
|-----|-------------|

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に○をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上, 3時間より少ない
- 3 1時間以上, 2時間より少ない
- 4 30分以上, 1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 まったくしない

五年( ) (組) (番) 氏名( )

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【一】 次の一線のついた漢字のよみがなを□の中にひらがなで書きなさい。

正答数

問/5問

いいにおいが、辺り一面に広がる。

あた

【二】 次の一線のついたひらがなを□の中に漢字に直して書きなさい。

ビルのおくじようから町をながめる。

屋上

【三】 次の二つの文を、全体の意味を変えずに一つの文にしなさい。

スイッチを入れた。しかし、明かりがつかなかった。

スイッチを入れたが、明かりがつかなかった。

問二 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

【四】 コノハチヨウが木のえだにとまっていると、えだにのこったかれ葉と見分けがつかないのはなぜですか。「から。」につながるように二つ答えなさい。

羽のうらがかれ葉のような色をしている から。

羽をとじたときの形が木の葉そっくりだ から。

順不同

五年( )組( )番 氏名( )

問三 青空小学校では、もうすぐ春の読書週間が始まります。図書委員会では、たくさんの人に図書館に来てもらうために全校放送で呼びかけることになりました。そこで、どうすればたくさんの人に来てもらえるか、話し合いました。

全校のみなさんからのアンケートをとったら、読みたいと思っている本が伝記や物語だと分かったよ。



太郎さん

アンケートからは、図書委員会に、他学年の人とも楽しめることをしてほしい、と思っている人が多いことも分かったわ。



知子さん

みんなで楽しめそうだから、紙芝居の会とか、図書館についてのクイズ大会を計画したらどうですか。昼休みや放課後を使って。



明子さん

お昼の放送の時間に物語を紹介したり、新しく入った伝記の本の紹介コーナーを作ったりすれば、アンケート結果を生かせると思います。



次郎さん

【五】 図書委員長の知子さんは、みんなからの意見をもとに、次のように昼の放送で発表しました。 Aに入る言葉を、右の図書委員の意見を使って三十字以内で書きなさい。

〈発表した内容〉

図書委員会から全校のみなさんにお知らせです。

もうすぐ春の読書週間です。図書委員会では、この読書週間の計画を二つ考えました。

まず、一つめは、紙芝居の会と図書館についてのクイズ大会です。紙芝居は、○月○日の昼休みの時間に行います。図書館についてのクイズ大会は○日○日の放課後に行います。これらは、みなさんから、他学年の人とも楽しめることを考えてほしいという要望があったから計画しました。

二つめは、お昼の放送の時間に物語を紹介することと、新しく入った伝記の本の紹介コーナーを図書館に作ることです。これらは、 A と分かったから計画しました。

みなさん、これらの計画を楽しみにしてください。そして、読書週間中には、ぜひ図書館に来てください。

これで、図書委員会からのお知らせを終わります。

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 全校のみなさんが読みたいと思っ | ている本が |
| 伝記や物語だ          |       |
|                 |       |
|                 |       |
|                 |       |

**正答**

## 平成 23 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 ( 1 )

5 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )  
 ( 答えはすべて解答らんにかきなさい。 )

正答数

問 / 5 問

【 1 】  $1.4 + 3$  を計算しなさい。


【 2 】  $80 - 30 \div 5$  を計算しなさい。


【 3 】 下の整数と分数を, 小さい順に左からならべなさい。

$$\left[ \frac{8}{3}, 1\frac{2}{3}, 2 \right]$$

|       |   |
|-------|---|
| 【 1 】 | 4.4                                     |
| 【 2 】 | 74                                      |
| 【 3 】 | 小さい順に<br>$1\frac{2}{3}, 2, \frac{8}{3}$ |
| 【 4 】 | 式<br>$12 \div 3$                        |
|       | 答え<br>4 倍                               |

【 4 】 テープが 2 本あります。テープの長さは, 次のようになっています。

・赤色のテープの長さは 3 m 

・黄色のテープの長さは 12 m 

黄色のテープの長さは, 赤色のテープの長さの何倍ですか。求める式と答えを書きましょう。



正答

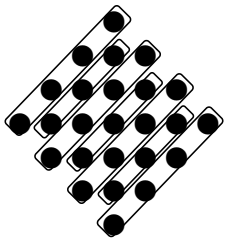
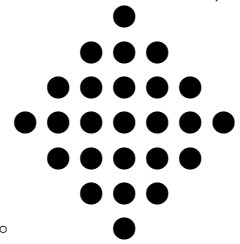
平成 23 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 ( 2 )

5 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【5】 右の図のように、おはじきがならんでいる。  
たかしさんは、おはじきの数を次のような式で求めた。

$$4 \times 4 + 3 \times 3$$

そして、どのようにおはじきを囲んで考えたのかを、下のように説明した。



「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」の「 $4 \times 4$ 」は、図のようにならんでいる 4 つのまとまりが 4 つ分のご数を表している。

「 $3 \times 3$ 」も、ななめにならんでいる 3 つのまとまりが 3 つ分のご数を表している。

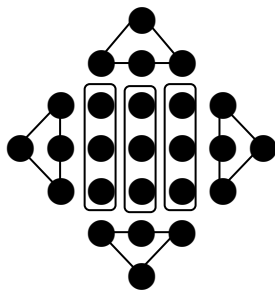
それらを合わせて、全部のおはじきのご数を「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」ともとめた。

たかしさんが求めた式と同じ式で、別の囲み方で説明を考えることができます。たかしさんの説明を参考にして、 $4 \times 4 + 3 \times 3$ の式の説明を、たかしさんとは別の囲み方をした図と言葉でかきなさい。

〔説明〕

(正答例)

【5】



「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」の「 $4 \times 4$ 」は、図のように外の 4 つのまとまりが 4 つ分のご数を表している。

「 $3 \times 3$ 」は、中の 3 つのまとまりが 3 つ分のご数を表している。

それらを合わせて、全部のおはじきのご数を「 $4 \times 3 + 3 \times 3$ 」ともとめた。

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。  
当てはまる番号に○をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上, 3時間より少ない
- 3 1時間以上, 2時間より少ない
- 4 30分以上, 1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 まったくしない

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

# 小学校5学年 P調査問題指導資料

(解説シート，指導シート)

国語，算数

長野県教育委員会

## 小学校5年国語【一】【二】解説シート

### ◆問題

【一】 次の一線のついた漢字のよみがなを□の中にひらがなで書きなさい。

いいにおいが、辺り一面に広がる。

【二】 次の一線のついたひらがなを□の中に漢字と送りがないように直して書きなさい。

ビルのおくじょうから町をながめる。

正答 【一】 あた  
          【二】 屋上

### ◆出題の趣旨

【一】【二】 学年別漢字配当表の3学年までに配当されている漢字を正しく書いたり，4学年までに配当されている漢字を正しく読んだりすることができるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

【一】【二】 第3学年及び第4学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

- (1) イ (ウ) 送り仮名に注意して書き，また，活用についての意識をもつこと。
- (1) ウ (イ) 第3学年及び第4学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<【一】 解答類型>

|    |               |   |   |
|----|---------------|---|---|
| 1◎ | 「あた」と解答しているもの | 人 | % |
| 2  | 「まわ」と解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答       |   |   |
| 0  | 無解答           |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<【二】 解答類型>

|    |               |   |   |
|----|---------------|---|---|
| 1◎ | 「屋上」と解答しているもの | 人 | % |
| 9  | 上記以外の解答       |   |   |
| 0  | 無解答           |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<昨年度の調査における正答率>

|     | 正答率   | 問 題                              |
|-----|-------|----------------------------------|
| P調査 | 60.3% | 【一】 体を <u>反</u> らす。              |
| C調査 | 44.7% | 【一】 <u>改</u> 行して書く。              |
| P調査 | 70.3% | 【二】 約束を <u>か</u> ならず守る。          |
| C調査 | 35.5% | 【二】 <u>逆</u> 上がりを <u>こ</u> ころみる。 |

## 小学校5年国語【一】【二】指導シート

### <誤答分析>

〈分析〉【一】「まわ」と書き間違えている児童は何人いましたか。

→これは、送り仮名から判断をして意味を考えて読んでいるのではないのでしょうか。

【二】漢字が正しく書けていない児童は何人いましたか。

→学習した漢字を生活の中で使っていない傾向はないのでしょうか。

〈確認〉学習した漢字を生活の中で意識して使っていますか。日記や作文などから児童の傾向をとらえ直しましょう。

ここがポイント



漢字学習

漢字に興味をもたせ、学習した漢字を日常生活の中で意識して使うように指導しましょう。

- ① 日常生活の中で使用頻度の高い漢字は、類義の言葉との使い方の違いが意識できる指導の工夫をしましょう。
- ② 児童は漢字に限らず、新しく覚えたものを使ってみたいという意識があります。「字を覚える楽しさ」を感じた機会をとらえて、認める教師のとらえが「日常生活で漢字を使おうとする」意識につながります。低学年から高学年への発達段階を考え、それぞれの段階で丁寧に指導していきましょう。
- ③ 学年が上がるにつれ、「漢字は覚えるもの」という意識になってきます。漢字の組み立てや成立など知的な好奇心を満たす授業の工夫と共に、日記やノート、作文など児童の生活全般で学習した漢字を使用することを意識化させる工夫をしましょう。

### <日常の授業改善に向けて>

- ① 文脈の中で意味を理解しながら読むことができるように指導しましょう。
- ② 部首に着目したり同じ漢字を用いた他の語句と関連させたりしながら漢字についての理解を深めていく指導を工夫しましょう。
- ③ 教科書本文で使われている音読み或いは訓読みのみ扱うのではなく、学年配当を確かめて、音訓両方に留意して指導しましょう。

【小5の例】 教科書本文で訓読みを扱うもの 「過」・「支」など

教科書本文で音読みを扱うもの 「再」・「任」など

- ④ 練習の仕方を具体的に指導したり、漢字テストのやり方を工夫したりしましょう。宿題と授業での漢字テストを関連付けるなど、目的をもって漢字練習ができるような工夫もしていきましょう。
- ⑤ 短文作りなどを通して、熟語として、実際に文の中で使って練習したり使い慣れたりできるように指導しましょう。
- ⑥ 動詞の送り仮名は活用語尾を送る場合が多いこと、副詞の送り仮名は最後の一字を送ることが多いことなど、経験として感じられるようにしましょう。さらに、日常生活の中で使う場面をとらえて意識付けをしましょう。

## 小学校5年国語【三】解説シート

### ◆問題

スイッチを入れた。しかし、明かりがつかない。

【三】 次の二つの文を、全体の意味を変えずに一つの文にしなさい。

### 正答例

※正答例と同等の内容であれば正答とする。

スイッチを入れたが、明かりがつかない。

### ◆出題の趣旨

【三】 文脈に沿って接続語を適切に使えるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

【三】 第3学年及び第4学年 〔伝統的な言語文化と国語の特質〕(1)イ(ク)

(1)イ(ク) 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<【三】解答類型>

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1◎ | スイッチを入れたが、明かりがつかない。<br>スイッチを入れたけれど、明かりがつかない。/スイッチを入れたところが、明かりがつかない 等も正答例と同等の内容として正答とする。 | 人 | % |
| 2○ | 上の1の解答で、文末に「。」がついていない。  |   |   |
| 3  | スイッチを入れたから、明かりがつかない。  |   |   |
| 9  | 上記以外の解答   |   |   |
| 0  | 無解答   |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

<昨年度の調査における正答率>

|        | 正答率   |
|--------|-------|
| P調査【三】 | 88.1% |
| C調査【四】 | 79.9% |

## 小学校5年国語【三】指導シート

### <誤答分析>

〈分析〉解答類型3～0の誤答については、次のようなことが考えられます。

- ・類型3→「スイッチを入れた」と「明かりがつかない」が逆接の接続語「しかし」で結ばれていることがとらえられていないようです。接続語「しかし」の働きが理解されていないことも考えられます。
- ・類型9, 0→設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉文と文のつながりを考えながら語句相互の関係をとらえ、指示語や接続語を適切に使う力が身に付いていますか。

#### ここがポイント



#### 語彙の学習 接続語の働きに着目する学習を

◇接続語の種類（順接・逆接・説明・選択・累加・転換）と働きを確認し、文と文がどんな関係になっているかを丁寧に学習する機会を取りましょう。

文と文の間にある接続語や段落の始めにある接続語に着目して、文相互の関係や段落相互の関係をとらえよう。

接続語に着目すると、文や段落の意味やそれぞれのつながりが分かりやすいなあ。自分の考えも伝えやすいし、相手の考えも分かりやすい。

### <日常の授業改善に向けて>

#### 3, 4年「書くこと」の指導

自分の考えが明確になるよう文章の構成を考える学習を

- ① 累加、並列といった段落と段落の相互の関係や事実と意見、結論とその理由や根拠などの段落の役割に着目して、文章の分かりやすさを考える学習場面を工夫しましょう。
- ② 指示語や接続語の働きを確認し、文章の中で適切に使うことができているかを見直していく推敲場면을効果的に位置付けていきましょう。

#### 5, 6年「書くこと」の指導

目的に応じて分かりやすさを比べる等の学習を

- ① 頭括型の組立が多い新聞、尾括型の組立が多い説明する文章など、目的や意図に応じて、主張をどこに位置付けたら分かりやすくなるかなど、構成を考える学習展開を工夫しましょう。
- ② モデル文などを用いて目的や意図に応じて分かりやすさを比べ、構成の工夫を考える学習を取り入れてみましょう。

#### 3, 4年「読むこと」の指導

接続語や指示語に着目する学習を

- ① 説明的な文章の読みでは、論理の展開をとらえるために接続語や指示語に着目していく学習を積み重ねましょう。
- ② 読むことの学習でも指示語や接続語の働きに着目する学習を工夫しましょう。

## 小学校5年国語【四】解説シート

### ◆問題

問二  
次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

【四】  
コノハチヨウが木のえだにとまっていると、えだにのこったかれ葉と見分けがつかないのはなぜか。二つ答えなさい。

### 正答例

羽のうらがかれ葉のような色をしているから。羽をとじたときの形が木の葉そっくりだから。  
※正答例と同等の内容であれば正答とする。  
※順不同とする。

### ◆出題の趣旨

【四】 文章の内容を的確に押さえながら読むことができるかどうかみる。

### ◆学習指導要領との関連

【四】 第3学年及び第4学年 「C 読むこと」

- (1) イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

< 【四】 解答類型 >

|  | 人 | % |
|--|---|---|
| 1◎ 「羽のうらがかれ葉のような色をしている」<br>「羽をとじたときの形が木の葉そっくりだ」  |   |   |
| 2○ 正答例に準じた内容となっているが、<br>「かれ葉のような色をしている」等、 <u>主語が欠落しているもの。</u><br>「羽が木の葉そっくりだ」等、「色」「形」の語が抜けているもの。 |   |   |
| 3 「表があざやかな青とオレンジ色だ」<br>「うらがかれ葉のような色をしている」  |   |   |
| 4 「表があざやかな青とオレンジ色だ」<br>「羽をとじたときの形が木の葉そっくりだ」  |   |   |
| 9 上記以外の解答  |   |   |
| 0 無解答  |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

< 昨年度の調査における正答率 >

|        | 正答率   |
|--------|-------|
| P調査【四】 | 38.7% |
| C調査【五】 | 55.0% |

## 小学校5年国語【四】指導シート

### <誤答分析>

〈分析〉 解答類型3～0の誤答については、次のようなことが考えられます。

- ・ 類型3→接続語「それに」が累加の働きをしていることがとらえられていないようです。
- ・ 類型4→複文や重文の場合、主になる文がどちらかを読み取らないといけないのですが、その軽重の具合が読み取れていないことが考えられます。
- ・ 類型9, 0→設問の意図を読み取れていないことが考えられます。

〈確認〉 読む目的に応じて中心となる語や文をとらえることや、必要な情報を選び出すためにどの言葉に着目すればよいか理解していますか。

### ここがポイント



**「説明的な文章」を読む学習で**

目的に応じ、着目する言葉を決めて読み取る学習を

◇目的に応じて読み取るために、接続語や文末表現、繰り返し出てくる言葉、キーワードなどの言葉に着目して、必要な部分がどこにあるのか読み取る学習をしましょう。

接続語に着目して、筆者の考えの理由の数を見つけよう。

(P調査【四】では)「それに」があるから、理由になることは二つだな。

文末表現に着目して、筆者の考えの中心を読み取ろう。

(P調査【四】では)「表はあざやかな青とオレンジ色」のあとに「ですが」と書かれているので、えだにのこったかれ葉と見分けがつかない理由となるのは、「ですが」のあとだな。

### <日常の授業改善に向けて>

#### 3, 4年「読むこと」の指導

目的に応じて着目する言葉を焦点化させていく学習を

- ① 文章を読む目的に応じて中心となる語や文をとらえるような学習を工夫していきましょう。
- ② 読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため取り上げる中心となる語や文も変化してきます。中心となる語や文に注目して要点をまとめたり、小見出しを付けたりするなどして、内容を整理する学習を工夫していきましょう。
- ③ 指示語や接続語、文末表現に着目して読む学習を工夫しましょう

#### 5, 6年「読むこと」の指導

文章の構成や、表現の仕方から内容を理解する学習を

- ① 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえるために、話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や巧みな叙述などについて注意する力を高める学習を工夫していきましょう。
- ② 目的に応じて複数の本や文章を比べて読み、文章全体から内容や要旨を把握するとともに、自分の考えをまとめる力を高める学習を工夫していきましょう。



# 小学校5年国語【五】解説シート

## ◆問題

問三 青空小学校では、もうすぐ春の読書週間が始まります。図書委員会では、たくさんの人に図書館に来てもらうために全校放送で呼びかけることになりました。そこで、どうすればたくさんの人に来てもらえるか、話し合いました。

全校のみなさんからのアンケートをとったら、読みたいと思っ  
ている本が伝記や物語だと  
分かったよ。  
太郎さん

みんなも読みたいから、紙  
芝居とか、図書室についての  
クイズ大会を新聞したらどう  
ですか。昼休みや放課後を使  
って。  
明子さん

お昼の放送の時間に物語を紹  
介したり、新しく入った伝記の  
本の紹介コーナーを作ったり  
すれば、アンケート結果を生か  
せると思っています。  
次郎さん

アンケートからは、図書委員会  
に、学年の人も読めること  
を希望したい、と返っている  
人が多いことも分かったわ。  
知子さん

【五】 図書委員長の知子さんは、みんなからの意見をもとに、次のよ  
うに昼の放送で発表しました。Aに入る言葉を、右の図書委員の意  
見を使って三十文字以内で書きなさい。

〈発表した内容〉  
図書委員会から全校のみなさんにお知らせです。  
もうすぐ春の読書週間です。図書委員会では、この読書週間に行  
う活動を二つ考えました。  
まず、一つめは、紙芝居の会と図書館についてのクイズ大会です。  
紙芝居は、〇月〇日の昼休みの時間に行います。図書館についての  
クイズ大会は〇日〇日の放課後に行います。これらは、みなさんか  
ら楽しい企画を考えてほしいという要望があったからです。  
二つめは、お昼の放送の時間に物語を紹介すること、新しく入  
った伝記の本の紹介コーナーを図書館に作ることです。これらは、  
A  
と分かったからです。  
みなさん、読書週間を楽しみにしてください。そして、ぜひ  
図書館に来てください。  
これで、図書委員会からのお知らせを終わります。

## 正答例

### 【五】

全校のみなさんが読みたいと思っ  
ている本が  
伝記や物語だ（二十六文字）

## ◆出題の趣旨

【五】 主張のために必要な情報を読み取ることができるかどうかを見る。

## ◆学習指導要領との関連

第3学年及び第4学年 C 読むこと(1)エ

目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

第3学年及び第4学年 A 話すこと・聞くこと(1)ア

関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。

第3学年及び第4学年 A 話すこと・聞くこと(1)イ

相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。

## ◆解答類型 ◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

### 【五】

|    |  | 人        | % |
|----|--|----------|---|
| 1◎ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・30文字以内で、次の条件を満たして記述している。</li> <li>・太郎さんの意見を選んで書いている。</li> <li>・前後がつながるように書いている。</li> </ul> |          |   |
|    |  | 上記正答例参照。 |   |
| 2  | 次郎さんの意見を選んで書いている。<br>(例)「アンケート結果を生かせる」   |          |   |
| 3  | 知子さんや明子さんの意見を選んで理由を書いている。  |          |   |
| 4  | 条件の文字数を満たしていない。  |          |   |
| 5  | 前後がつながる形になっていない。   |          |   |
| 9  | 上記以外の解答  |          |   |
| 0  | 無解答  |          |   |

## 小学校5年国語【五】指導シート

### 〈誤答分析〉

〈分析〉【五】解答類型により次のようなつまずきが考えられます。

・類型2, 3の場合

→目的に応じて必要な情報を読み取る力, 段落と段落との関係性を読み取る力, あるいは主張と関係付けて根拠を挙げたり, 理由付けをしたりする力が弱いようです。

・類型4の場合

→要点をとらえて文章の内容をまとめる力が弱いようです。

・類型5の場合

→選び出した材料を基にして書くときに, 次の文章とのつながりを考えて記述する力が弱いようです。

・類型0の場合

→設問の意味が理解できていない, 提示された情報が読み取れないという理由が考えられます。

〈確認〉必要な情報を取り出して, 目的に応じて表現する力が付いていますか。

### ここがポイント



話すこと・聞くこと, 書くこと, 読むことの各領域で, 目的に応じて考える力を付ける学習を

#### 【誤答の分析から取組への見通し】

◇相手, 目的や意図, 場面や状況などに応じて, 言葉を手掛かりにして論理的に思考したり, 豊かに想像したりする学習を構想しましょう。

読書週間の成果を報告するために, 図やグラフを使って新聞を書こう。

図書館に来た人が増えて, みんなが本好きになった。人数の変化や図書委員の活動の様子を新聞に入れると上手く伝わりそうだ。

### 〈 日常の授業改善に向けて 〉

#### 3, 4年「話すこと・聞くこと」の指導

◇【取材】目的や必要に応じて, 見通しをもって材料を集める学習を設定しましょう。

目的や必要に応じ, どんな材料が必要か, どんな方法で集められるかを考える場面を工夫しましょう。

◇【話すこと】相手や目的に応じて, 理由や事例を挙げて筋道を立てて話す学習を位置付けましょう。

話す内容を構成するときに, 伝えたいことだけを話すのではなく, 関心を抱いた理由や, なぜそのような考えになったのかという根拠を挙げながら筋道を立て, 内容を明確にしていくような学習を設定しましょう。

#### 3, 4年「読むこと」の指導

◇目的や必要に応じて文章を読む学習を積み重ねましょう。

例えば要約をするときに, 目的を明確にすることで, 文章の内容のどういう面を読めばよいのかが明らかになります。目的意識を明確にした学習場面を設定しましょう。

#### 各学年の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の指導

◇児童が目的や見通しをもって学習を進めるために, 学習過程を明確にした単元を構想していきましょう。

○【課題(話題)設定】【取材】【選材】【構成】【記述】【推敲】【交流】について, つける力を学年に応じて設定しましょう。

○スピーチや書き上がった作品の出来映えだけを評価するのではなく, その単元で絞り込んだつける力について, 具体的な評価規準を設定して評価しましょう。

## 小学校5年算数【1】解説シート

### ◆問題及び正答

【1】  $1.4 + 3$  を計算しなさい。

正答 4.4

### ◆出題の趣旨

小数の加法「(小数) + (整数)」の計算をすることができるかどうかをみるものである。ここでは、位をそろえて適切に計算することが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

第3学年 A 数と計算

(5) 小数の意味や表し方について理解できるようにする。

イ 1/10 の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

[算数的活動] (1)

ア 整数、小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動

イ 小数や分数を具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べる活動

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1◎ | 4.4 と解答しているもの | 人 | % |
|----|---------------|---|---|
| 2  | 1.7 と解答しているもの |   |   |
| 3  | 3.4 と解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答       |   |   |
| 0  | 無解答           |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



<過去の調査における正答率> ( $1.4 + 3$ )

|            | 正答率   | 「1.7」の反応率 |
|------------|-------|-----------|
| 22年度 (P調査) | 56.9% | /         |
| 21年度 (P調査) | 65.6% |           |
| 20年度 (県学力) | 63.1% | 28.0%     |
| 17年度 (県学力) | 45.9% | 44.2%     |
| 16年度 (県学力) | 55.8% | 37.9%     |

平成20年度全国学力・学習状況調査

$6 + 0.5$

正答率 83.1% (全国)  
82.1% (長野県)

## 小学校5年算数【1】指導シート

### ここがポイント

#### 補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「 $1.4 + 3 = 1.7$ 」と答えている児童は何人いましたか。

→20年度県学力実態調査では、28%の児童が「1.7」と解答しています。

〈確認〉位がそろった小数どうしの計算ができますか。

小数を数直線上に表すことができますか。

◇「 $1.4 + 3 = 1.7$ 」の誤答を生かして、小数の理解を深める場面を仕組みましょう。

どうやって計算したら、答えが「1.7」になるのかな。

「1.4の4」と「3」をたしたのかな。

|   |           |
|---|-----------|
| $\begin{array}{r} 1.4 \\ + 3 \\ \hline 1.7 \end{array}$ | と筆算したのかな。 |
|---|-----------|

式をみただけで、答えが「1.7」にならないことを説明できないかな。

1.4は1より大きいから、答えは1+3より大きくなる。

小数の計算をするときに、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

答えを見積って 3を3.0と表して

整数の場合と同じように位をそろえて

### ここがポイント

#### 3年「小数の加法・減法」の指導



結果を見積る態度を育てましょう。

◇小数の意味や仕組みを理解させることに留意し、形式的な計算指導にならないようにしましょう。

そのためには、計算の結果を見積ってから計算したり、答えと見積りを照らし合わせたりする習慣を付けることが大切です。

答えはいくつくらいになりそうかな。

数直線上で、小数の位置や大きさを確かめて

答えはいくつといくつの間になるかな。

単位を付けることで、日常生活に結び付けて

整数の計算に帰着させて

### ここがポイント

#### 4, 5年「小数の計算」の指導



整数の場合と比べながら、計算の仕方を考えさせましょう。

◇内容が抽象化してくると、形式的な計算処理を教え、あとは反復練習するだけの指導に陥りがちですが、それでは結果的に定着していません。発見や説明を大切に場面づくりをしましょう。

①3年の内容の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。

②計算の仕組みは整数の場合と同じである（形式の保持）ことに着目し、整数に直して考えて、計算の仕方を発見したり説明したりする学習を仕組みましょう。

③3年と同じように、計算結果を見積る態度を育てましょう。特に5学年では、かける（わる）数が1より小さい乗法（除法）で、結果を見積り、根拠を説明できるようにしましょう。

④加法と乗法の筆算の形式を比較することから、2つの計算の意味理解を深め、使い分けができるようにしましょう。小数の加法と乗法の混じった問題プリントを使うことも有効です。

## 小学校5年算数【2】解説シート

### ◆問題及び正答

【2】  $80 - 30 \div 5$  を計算しなさい。

正答 74

### ◆出題の趣旨

減法と除法の混合した整数の計算をすることができるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。

ア 四則の混合した式や ( ) を用いた式について理解し、正しく計算すること。

[算数的活動] (1)

ア 目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について適切に判断する活動

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

|    |              | 人 | % |
|----|--------------|---|---|
| 1◎ | 74 と解答しているもの |   |   |
| 2  | 10 と解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答      |   |   |
| 0  | 無解答          |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



<過去の調査における正答率> (四則の混合した式)

|             | 問題                  | 正答率   |
|-------------|---------------------|-------|
| 22年度 (全国学テ) | $50 + 150 \times 2$ | 66.3% |
| 21年度 (全国学テ) | $80 - 30 \div 5$    | 67.0% |
| 20年度 (全国学テ) | $3 + 2 \times 4$    | 71.1% |
| 19年度 (全国学テ) | $6 + 0.5 \times 2$  | 69.1% |
| 17年度 (県学力)  | $12 + 18 \div 3$    | 69.4% |
| 16年度 (特定課題) | $3 + 2 \times 4$    | 66.0% |

## 小学校5年算数【2】指導シート

### ここがポイント

#### 補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉 $80-30\div 5=10$  と答えている児童は何人いましたか。

〈確認〉除法を減法よりも先に計算するという計算の順序についてのきまりを理解していますか。  
除法を先に計算した場合と減法を先に計算した場合を比較して、計算結果が異なることを認識していますか。

◇ $80-30\div 5=10$  の誤答を生かして、計算の順序のきまりの理解を深める場面を仕組みましょう。

答えが  $80-30\div 5=10$  になるのは、  
どう考えたからかな。

計算は左から右へ進めるものだから、 $80-30$  を先に  
計算してしまった。

わり算を先に計算した場合と引き算  
を先に計算した場合では、答えが違  
うか調べてみよう。

わり算を先に計算すれば 74 になり、引き算を先に計  
算すれば 10 になるから、答えが 7 倍も違ってしまう。

具体的な問題の場面を考えて、計算  
の順序のきまりを確認しよう。

「80 円のおこづかいから 5 個で 30 円のアメを 1 こ買  
った残りのお金は、いくらでしょう」を考えると、わ  
り算を先に計算しないと合わなくなる。

### ここがポイント

#### 4年「式と計算の順じょ」の指導



具体的な場面と式の表現とを結び付けて考えましょう。

◇加減や乗除を用いる具体的な場面と式の表現とを結び付けて考える活動を通して、計算の順序を  
意識できるようにする指導の充実を図りましょう。また、計算の順序を間違えて計算している例  
を提示して、どこが誤っているのか、どのように修正すればよいのかを考えさせる活動を取り入  
れましょう。

実際の場面だったらどう計算するのかな。

実際の場面に合うように、計算の順序のきまり  
を確かめる。

計算のどこを直せば正解になるのかな。

正解からさかのぼって、計算の順序のきまり  
を確かめる。

### ここがポイント

#### 5年「式と計算」の指導



計算の順序のきまりに従うことの重要性を理解しましょう。

◇例えば、 $80-30\div 5$  の計算について、除法を先に計算した場合と減法を先に計算した場合を比較し  
て、式のどの部分から計算するかによって計算結果が異なることを認識できるようにしましょう。

◇計算の順序についてのきまりの理解を一層深めるためには、乗法と加法、減法や除法と加法、減法  
の混合した計算など、四則の混合した様々な計算をする機会を設けましょう。

◇まず、整数の範囲で確実に理解できるようにして、さらに、小数や分数を含む計算の場合にも計算  
の順序を理解して計算できるように、継続して指導しましょう。

<除法を先に計算した場合>

$$\begin{array}{r} 80 - 30 \div 5 \\ \quad \quad \quad \text{①} \\ \quad \quad \quad \text{②} \end{array}$$

①  $30\div 5=6$

②  $80-6=74$

<減法を先に計算した場合>

$$\begin{array}{r} 80 - 30 \div 5 \\ \quad \text{①} \quad \quad \quad \text{②} \end{array}$$

①  $80-30=50$

②  $50\div 5=10$

## 小学校5年算数【3】解説シート

### ◆問題及び正答

【3】 下の整数と分数を、小さい順に左からならべなさい。

$$\left( \frac{8}{3}, 1\frac{2}{3}, 2 \right)$$

正答  $1\frac{2}{3}, 2, \frac{8}{3}$

### ◆出題の趣旨

帯分数、仮分数及び整数の大小関係を理解しているかどうかをみるものである。ここでは、1より大きい数についても、単位分数の幾つ分というとらえ方をしたり、帯分数によって表したりできることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

第3学年 A 数と計算

(6) 分数の意味や表し方について理解できるようにする。

ア 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いること。また、分数の表し方について知ること。

イ 分数は、単位分数の幾つ分かで表せることを知ること。

[算数的活動] (1)

イ 小数や分数を具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べる活動

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 1◎ | $1\frac{2}{3}, 2, \frac{8}{3}$ と解答しているもの | 人 | % |
| 2  | $\frac{8}{3}, 1\frac{2}{3}, 2$ と解答しているもの |   |   |
| 3  | $2, 1\frac{2}{3}, \frac{8}{3}$ と解答しているもの |   |   |
| 4  | $1\frac{2}{3}, 2, \frac{8}{3}$ と解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                                  |   |   |
| 0  | 無解答                                      |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



<過去の調査における正答率> (整数、仮分数、帯分数の大小関係)

|            | 問 題                             | 正答率   |
|------------|---------------------------------|-------|
| 21年度 (C調査) | $\frac{12}{5}, 2, 1\frac{4}{5}$ | 45.7% |
| 21年度 (P調査) | $1\frac{2}{3}, \frac{8}{3}, 2$  | 44.7% |

## 小学校5年算数【3】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

〈分析〉「 $\frac{8}{3}$ ,  $1\frac{2}{3}$ , 2」と答えている児童は何人いましたか。

〈確認〉分数の大きさを、単位分数の幾つ分かで説明することができますか。  
分数を数直線上に表すことができますか。

◇「 $\frac{8}{3}$ ,  $1\frac{2}{3}$ , 2」などの誤答を生かして、分数の理解を深める場面を仕組みましょう。

答えが、「 $\frac{8}{3}$ ,  $1\frac{2}{3}$ , 2」になるのは、どう考えたからかな。

分数のどの部分に目をつければ、大きさが分かるかな。

整数や分数の大きさを比べるときに、工夫することをまとめよう。

整数部分だけを比べて、 $0 \rightarrow 1 \rightarrow 2$ のように、小さい順に並べてしまった。

同じ単位(単位分数)の幾つ分で表しているから、分子の大きさだけで分数の大小を比べられる。

帯分数の整数部分を見れば、いくつといくつの間の大きさになるか分かる。

数直線に表して

同じ単位分数の幾つ分かで表して

ここがポイント

3年「分数」の指導



分数目盛の数直線を使い、分数を数として理解できるようにしましょう。

◇分数の意味や表し方の理解を基に、分数の形から大小関係を説明できるようにしましょう。その際、1より大きい分数を仮分数、帯分数で表すよさが分かり、相互に変形したり、整数や小数とともに同じ数直線上に表したりして、分数の大きさに対する感覚を育てていくことが大切です。

仮分数→どのくらいの大きさの分数かな。

単位分数の幾つ分かに着目して

分数目盛の数直線上に表して

帯分数→いくつといくつの間になるかな。

整数部分に着目して

ここがポイント

4, 5年「分数」の指導



同じ大きさの数でも、様々な表し方があることを理解しましょう。

◇整数⇔分数, 小数⇔分数と相互に形を変えて表し、数直線上に位置付けて、同じ数であることを視覚的にとらえられるようにしましょう。また、数の大きさを比較したり和や差を求めたりする中で、大きさは変えずに形を変えて表すよさに気付かせることが大切です。

①3年の内容の理解を深めることを意識して、数直線など教具や教室環境を整えましょう。

②整数⇔分数, 小数⇔分数と相互に変形できることを、単位分数の幾つ分かに着目したり、商が分数で表せることを利用したりして、説明する学習を仕組みましょう。

③同分母分数の加法・減法では、分母はそのままで分子どうしを計算すればよい理由を、具体物を用いたり単位分数の幾つ分かに着目したりして説明する活動を位置付けるなどして、形式的な処理を反復練習することだけにならないようにしましょう。



## 小学校5年算数【4】解説シート

### ◆問題及び正答

【4】 テープが2本ある。テープの長さは、次のようになっています。

・ 赤色のテープの長さは3 m

・ 黄色のテープの長さは12m

黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの何倍ですか。

求める式と答えを書きましょう。

正答 式  $12 \div 3$  答え 4倍

### ◆出題の趣旨

割合を求める場合の除法の意味について理解しているかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

第3学年 A 数と計算

(4) 除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。

ア 除数がいられる場合について知ること。また、余りについて知ること。

[算数的活動] (1)

ア 整数、小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動

第4学年 A 数と計算

(3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

イ 除数の計算が確実にでき、それを適切に用いること。

[算数的活動] (1)

ア 目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について適切に判断する活動

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| (注意)式については、答えの有無や正誤は問わない。 |  |   |   |
|---------------------------|--|---|---|
|                           |  | 人 | % |
| 1◎                        | 式 $12 \div 3$ 答え 4 と解答しているもの               |   |   |
| 2○                        | 式 黄色のテープの長さ÷赤色のテープの長さ 答え 4 と解答しているもの       |   |   |
| 3                         | 式 類型1,2以外を解答あるいは無解答 答え 4 と解答しているもの         |   |   |
| 4                         | 式 類型1を解答 答え 4以外を解答しているものあるいは無解答            |   |   |
| 5                         | 式 $3 \times 4 = 12$ 答え 4以外を解答しているものあるいは無解答 |   |   |
| 6                         | 式 $3 \div 12$ 答え 4以外を解答しているものあるいは無解答       |   |   |
| 7                         | 式 $12 \times 3$ 答え 4以外を解答しているものあるいは無解答     |   |   |
| 9                         | 上記以外の解答                                    |   |   |
| 0                         | 無解答  |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

<過去の調査における正答率>

20年度全国学力・学習状況調査

|       |
|-------|
| 正答率   |
| 83.1% |

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



## 小学校5年算数【4】指導シート

### ここがポイント

#### 補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

【分析】「 $3 \div 12$ 」と答えている児童は何人いましたか。

→20年度全国学力・学習状況調査では、3.3%の児童が「 $3 \div 12$ 」と解答しています。

【確認】何倍かを求める場面では、除法を用いることは分かっていますが、何が基準量で、何が比較量なのかとらえていますか。

◇「 $3 \div 12$ 」の誤答を生かして、何が基準量で、何が比較量なのかとらえる場面を仕組みましょう。

式が「 $3 \div 12$ 」になるのは、どういう場合なのかな。

黄色のテープが基準の量で、赤色のテープが比べる量になってしまう。

式が「 $3 \div 12$ 」になると、どんな問題になるのかな。

「赤色のテープの長さは、黄色のテープの長さの何倍ですか」という問題になってしまう。

何倍かを求める問題で、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

基準の量と比べる量は何かはっきりさせよう。

比べる量 $\div$ 基準の量で何倍になるのかを求める。

### ここがポイント

#### 3年「わり算」の指導



比較量と基準量、割合との関係を理解できるようにしましょう。

◇「比べられているものは何か」、「何が基になっているか」を明らかにした上で、「比べられているものが基にするものの何倍か」を考えられるように、問題の文と具体的に関連付けて考える活動を取り入れながら指導するようにしましょう。

比べられているものは何かな。

黄色のテープの長さが比べられているものだな。

何が基になっているかな。

赤色のテープの長さが基になっているんだな。

比べられているものが基にするものの何倍かな。

黄色のテープが赤色のテープの4つ分になる。

### ここがポイント

#### 4年「わり算」の指導



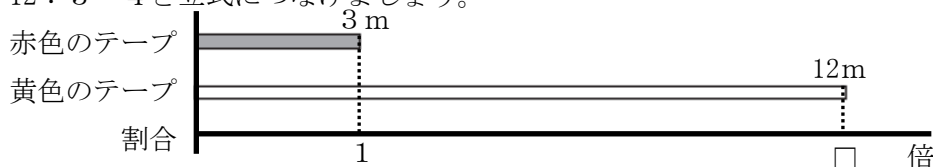
基準量を1とみて、比較量がいくつ分とれるか考えさせましょう。

◇数直線や線分図などに数量を表して、それらの関係を調べる算数的活動を取り入れ、何倍とは、基準量を1とみて、比較量からそれがいくつ分とれるかを考えるということを理解できるようにしましょう。

①3年の内容の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。

②3年と同じように、「比べられているものは何か」、「何が基になっているか」を明らかにした上で、「比べられているものが基にするものの何倍か」を考えられるようにしましょう。

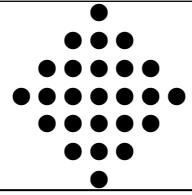
③「3mを1とみたとき、12mはそのいくつ分か」を求めることとなります。例えば、12m, 3m, 1を数直線や線分図に表し、12mは1より大きくなることを視覚的にとらえることで、 $12 \div 3 = 4$ と立式につなげましょう。



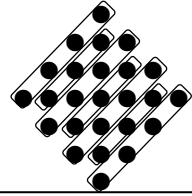
## 小学校5年算数【5】解説シート

### ◆問題及び正答

【5】 右の図のように、おはじきがならんでいる。  
 たかしさんは、おはじきの数を次のような式で求めた。  
 $4 \times 4 + 3 \times 3$   
 そして、どのようにおはじきを囲んで考えたのかを、下のように説明した。

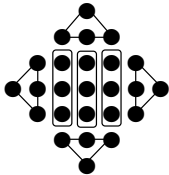


「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」の「 $4 \times 4$ 」は、図のようにならんでいる4つのまとまりが4つ分のご数を表している。  
 「 $3 \times 3$ 」も、ななめにならんでいる3つのまとまりが3つ分のご数を表している。  
 それらを合わせて、全部のおはじきのご数を「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」ともとめた。



たかしさんが求めた式と同じ式で、別の囲み方で説明を考えることができます。たかしさんの説明を参考にして、 $4 \times 4 + 3 \times 3$ の式の説明を、たかしさんとは別の囲み方をした図と言葉でかきなさい。

### 正答例



「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」の「 $4 \times 4$ 」は、図のように外の4つのまとまりが4つ分のご数を表している。  
 「 $3 \times 3$ 」は、中の3つのまとまりが3つ分のご数を表している。  
 それらを合わせて、全部のおはじきのご数を「 $4 \times 4 + 3 \times 3$ 」ともとめた。

### ◆出題の趣旨

示された説明を解釈し、それを参考に別の囲み方で説明を考え、その説明を数学的に表現できるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。

ア 四則の混合した式や( )を用いた式について理解し正しく計算すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

|                             |  |  |   |
|-----------------------------|--|--|---|
| (正答の条件) 次の①, ②, ③の全てを書いている。 |  |  |   |
| ①                           | 図を囲んで「 $4 \times 4$ 」の意味を説明している。           | } 囲む形は問わない。<br>「外の」「中の」「ならんでいる」などの言葉はなくてもよい。 |   |
| ②                           | 図を囲んで「 $3 \times 3$ 」の意味を説明している。           |  |   |
| ③                           | 合計をたし算で求めている。「それらを合わせて～ともとめた」などの記述がある      |  |   |
| 1◎                          | ①, ②, ③の全てを書いているもの<br>(たかしさんと逆の斜めで囲んだものも可) | 人  | % |
| 2○                          | ①, ②を書いているもの                               |  |   |
| 3                           | ①または②と③を書いているもの                            |  |   |
| 4                           | ①または②を書いているもの                              |  |   |
| 9                           | 上記以外の解答                                    |  |   |
| 0                           | 無解答  |  |   |

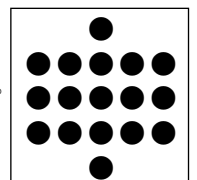
◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

### <P, C調査における正答率>

|           | 正答率   |
|-----------|-------|
| 22年度(P調査) | 43.0% |
| 21年度(C調査) | 46.0% |
| 21年度(P調査) | 34.6% |

### <22年度P調査問題>

下の図のように、はこにクッキーがならんでいます。たかしさんは、 $5 \times 5 - 2 \times 4$ という式をつくって、クッキーのご数をもとめました。図を使って、たかしさんのもとめ方をせつめいしなさい。



# 小学校5年算数【5】指導シート

## ここがポイント

### 補充・補完指導



無解答の児童の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

〈分析〉無解答の児童は何人いましたか。

→県学力実態調査の結果からは、無解答の割合は年度を追って減少する傾向にあり、20年度の類題では6%程度となっています。

〈確認〉「 $4 \times 4$ 」は「4の4つ分」を表している式であることを説明できますか。

かけ算をまとまりとしてとらえ、「4の4つ分」と「3の3つ分」を合わせたものを表していることが分かりますか。

◇図の中に「 $4 \times 4$ 」を見つけることから、図と対応させて式を読むことができるようにしましょう。

図の中に「 $4 \times 4$ 」が見つかりますか。

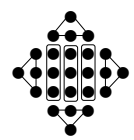
パッとみただけでは図から、4このまとまりが4つ分を見つけれない。

(図形に着目させて) どんな形で、4このまとまりが考えられるかな。

正方形や長方形だけに留めずに、三角形でも4このまとまりを考えてみる。

4このまとまりをいろいろ考えて、囲みを入れて式に表そう。また、友だちの図を見て、どのように考えたのか説明しよう。

図に囲みを入れて



## ここがポイント

### 4年「式をよむ」ことの指導

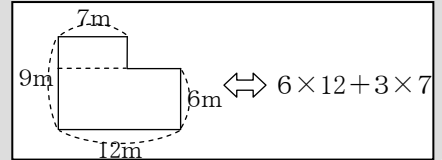


年間の指導内容を見通して、繰り返し指導しましょう。

◇年間の指導内容を見渡すと、例えば、下のような学習場面で、式の意味を読み取る活動を位置付けることができますので、見通しをもって繰り返し指導していきましょう。

- L字型の図形の求積 - 式と計算のじゅんじょ(式から具体的な場面をよむ) - 伴って変わる2つの数量関係 →

なかでもL字型の図形の求積については、新学習指導要領で〔算数的活動〕の1つとして、「長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動」と示されています。この活動を通して、式の形そのものが意味をもっていることに気付き、公式を使うよさ、補助線のよさなどを実感できるようにしましょう。



## ここがポイント

### 5年「式をよむ」ことの指導



図や操作と式を結び付けて説明する活動を充実しましょう。

◇4年同様、年間の指導内容の中から、式の意味を読み取ることに重点を置いて指導する場面を予め明らかにしておくことが大切です。

- 小数の計算 - 分数の計算 - 三角形、平行四辺形等の求積 - 数量の関係の見方や調べ方 →

特に、三角形、平行四辺形の求積場面では、図や操作と式の対応付けを丁寧に行うとともに、

4年の学習との関連を大切にし、面積を求める図形の中に既知の図形を見だし、問題解決するよさを味わえるようにしましょう。

4年「面積」  
L字型の図形の求積

5年「面積」  
三角形、平行四辺形等の求積

ひと工夫して長方形に帰着

ひと工夫して長方形、三角形に帰着